

創立143周年



# 学校だより は え 南風の子

## 中種子町立 南界小学校

平成28年11月10日(木)発行

### 自分への期待感をもって2学期後半を

校長 岡留 祐宏

運動会練習で始まった2学期も、町民体育祭、陸上記録会、相撲大会を経て、すでに11月中旬となりました。今また、20日の町駅伝大会に向けて連日の練習が続いています。スポーツ行事の一方で、9日には町音楽祭で合唱2曲を発表し、12日の学習発表会に向けて練習も大詰めを迎えています。各行事において、頑張り切れた喜びやそれを認めてもらえた喜びを感じ、自信とやる気を感じている子供たちもいます。そうした子供たちの姿が職員室でも話題になった2学期前半でした。



学習発表会の練習(群読)です

さて、秋の深まりとともに、2学期後半は落ち着いた環境の中で学習やその他の活動に取り組んでほしいと思います。まずは、生活リズムを整え、基本をおろそかにせずに毎日进行してほしいと思います。どの子供も「自分への期待感」をもって2学期後半を過ごしましょう。

### 新幹線清掃スタッフの誇り

「奇跡の7分間」として称賛されている新幹線の清掃担当している鉄道整備会社(通称テッセイ)。

お客が降りると7分間の清掃に入る。座席数約100ある1両の清掃を1人で担当。約25mの車両を突っ切り、座席の下や物入れにあるゴミを集める。次にボタンを押して、座席の向きを進行方向に変えると、今度は100のテーブルすべてを拭き、窓のブラインドを上げたり、窓枠を拭く。座席カバーが汚れていれば交換する。どんなにトイレが汚れていても、7分以内に完璧に作業を終える。チームのリーダーは、仕事が遅れていたり、不慣れな新人がいる場合には、ただちに応援し、最後の確認作業を行う。7分間で清掃を終えると、チームは再び整列し、ホームで待っているお客様に「お待たせしました」と声を掛け、再度一礼して、次の持ち場へ移動していく。(MAG2NEWSより引用)

上記のような仕事ぶりに対して、ホームで待つ乗客からも驚きと称賛の拍手が起こると聞きました。海外でも話題になり、「日本の礼の文化」学ぶために海外からの実習生も来るのだそうです。

「(お客から)見えているから、がんばるわけではありませんが、見えているから、もっともっとがんばらなくてはとも思います。」(清掃スタッフ)というコメントを聞くと、清掃スタッフの皆さんが自分の仕事に対する大きな誇りを抱いていることを強く感じた次第です。

### 称賛のグリーンカード

12才以下の少年サッカー大会では、審判がフェアプレー精神を発揮した選手に対して緑のカードを示す「グリーンカード」という取組があるそうです。例えば、ケガをした選手への思いやり、意図していないファウルプレーの際の謝罪や握手、自チームのボールが境界線から出た時に自己申告する行為、そして、フェアな態度でプレーしたチームに対してもです。

日々の学校生活での子供たちの姿を見ると、例えば、分担している役割をきちんとやり遂げようとする子供、役割を掃除の時間に、長い廊下を何度も往復しながら雑巾をかけている子供、正門や職員室の前でさわやかなあいさつができる子供、相手の気持ちを察して優しい言葉をかけてあげられる子供、頼まれた用事に快く対応している子供、言葉遣いの丁寧な子供、服装が整っている子供・・・。

学校がよりよいものを目指す場であるためにも、このような子供たちの姿は本当に称賛されるべき姿だと思うことです。

